

# 第 5 講座 江戸時代前期

1 江戸時代前期の流れ 次の年表の〔 〕にあてはまる語句を答えなさい。

年代	おもなできごと
1600年	〔 ① 〕の戦い → 勝った〔 ② 〕が全国支配の実権をにぎる
1603年	〔 ③ 〕が成立する ← 征夷大将軍になる
1615年	豊臣氏がほろびる。大名を統制する〔 ④ 〕が定められる
1635年	徳川家光が〔 ④ 〕に〔 ⑤ 〕の制度を加える → 大名は領地と江戸を往復
1637年	九州で〔 ⑥ 〕がおこる → 幕府はキリスト教の禁止を強化
1639年	〔 ⑦ 〕船の来航を禁止する
1641年	平戸のオランダ商館が長崎の〔 ⑧ 〕に移される → 〔 ⑨ 〕体制が固まる
1669年	蝦夷地(北海道)で〔 ⑩ 〕の人たちがシャクシャインを中心に蜂起…和人(本州の人々)に抵抗
1680年	〔 ⑪ 〕が5代将軍になる → 幕府の財政悪化 → 質の悪い貨幣を発行 → 物価が上昇
1709年	儒学者の〔 ⑫ 〕が登用される → 貨幣の質をもとにもどす。長崎貿易を制限する

2 江戸幕府の成立 次の問いに答えなさい。

- 関ヶ原の戦いに勝利し、征夷大将軍に任じられて江戸幕府を開いた人物はだれか。〔 〕
  - 大名の領地と、その政治組織を何というか。〔 〕
  - 関ヶ原の戦い以後に徳川氏に従った大名を何というか。〔 〕
  - 幕府が定めた、大名を統制する法律を何というか。〔 〕
  - (4)に加えられた、大名が1年おきに領地と江戸を往復する制度を何というか。〔 〕
- 一、朝は早く起きて草を刈り、昼は田畑の耕作をし、晩には縄をない、俵をあみ、それぞれの仕事に気をぬくことなくはげむこと。

一、酒や茶を買って飲まないようにせよ。

一、百姓は雑穀を食べ、米を多く食いつぶさぬようにせよ。

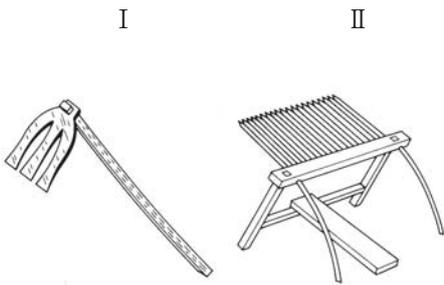
一、百姓の衣類は、麻と木綿に限る。

(部分要約)
- 百姓のうち、土地をもつ者を何というか。〔 〕
  - 有力な(6)がなった村役人は、おもに組頭・百姓代と何か。〔 〕
  - 左の史料は、百姓を統制するために出されたとされる御触書である。百姓はさらに、収穫した米の40～50%を納めさせられた。この負担を何というか。〔 〕
  - 犯罪の防止や(8)の納入について百姓に共同責任を負わせるため、幕府などがつくった制度を何というか。〔 〕

3 鎖国 次の文中の〔 〕にあてはまる語句を答えなさい。

- 徳川家康が〔 〕貿易を奨励したので、東南アジア各地に日本町ができた。〔 〕
- 領主の圧政に苦しんだ百姓などが、天草四郎をかしらとして〔 〕をおこした。〔 〕
- 幕府は1639年に〔 〕船の来航を禁止し、鎖国体制を固めていった。〔 〕
- 長崎では、中国と〔 〕の船だけが貿易を許された。〔 〕
- 長崎に入港する(4)の船は、海外事情を書いた〔 〕を差し出すことを命じられた。〔 〕
- 朝鮮からは、将軍の代わりごとに〔 〕が来る慣例となった。〔 〕

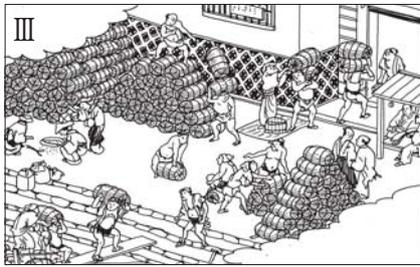
4 産業の発達 次の問いに答えなさい。



- (1) 用水路の建設や海・沼の干拓かんたくなどによって新しく開発された田を何というか。 [ ]
- (2) 農具の改良によって、農業生産が向上した。左の資料 I・II の農具をそれぞれ何というか。 I [ ]  
II [ ]
- (3) 九十九里浜くじゅうくりはまで大規模に漁が行われて大量に水あげされていた、干して肥料に加工された魚は何か。 [ ]

(4) 次の①～③の都市名をそれぞれ答えなさい。

- ① 将軍の城下町で、18世紀はじめには人口が100万人をこえた。 [ ]
- ② 「天下の台所」とよばれ、全国の商業や金融きんゆうの中心地であった。 [ ]
- ③ 文化の中心地であるとともに、最先端さいせんたんの手工業都市でもあった。 [ ]
- (5) (4)の①を起点とする5つの幹線道路をまとめて何というか。 [ ]



- (6) (4)の②などに諸藩が設置し、年貢米や特産物を送りこんだ、左の資料 III のような建物を何というか。 [ ]
- (7) 問屋といや・仲買なかがいなどの大商人がつくり、幕府の許可を受けて営業を独占した同業者組合を何というか。 [ ]
- (8) 金銀の交換など、今日の銀行のような仕事を行った商人を何というか。 [ ]

5 綱吉・白石の政治 次の文中の [ ] にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 5代将軍の [ ] は、幕府の財政がかたむいてきたので、質の悪い貨幣かへいを多くつくって不足を補おうとした。 [ ]
- (2) (1)は [ ] という極端な動物愛護令を出して、人々を苦しめた。 [ ]
- (3) 6～7代将軍のとき、儒学者の [ ] が政治にあたり、貨幣の質をもどして物価の安定に努めた。 [ ]
- (4) (3)は金銀の国外流出を防ぐため、 [ ] 貿易に制限を加えた。 [ ]

6 学問と文化 次の問いに答えなさい。

- (1) 次の①～③にあてはまる人物を、あとの [ ] の中からそれぞれ選び、答えなさい。
- ① 大和絵風のはなやかな装飾画そうじやくである「風神雷神図屏風」を描いた。 [ ]
- ② 和算わさんとよばれる数学を発展させた。 [ ]
- ③ 全国から学者を集め、「大日本史」という歴史書を編さんした。 [ ]
- [ 徳川家光 とくがわいえみつ 俵屋宗達 たからや そうたつ 徳川光圀 とくがわみつくに 兼好法師 けんこう 狩野永徳 かのうえいとく 関孝和 せきたかかず 中江藤樹 なかえとうじゆ 林羅山 はやらざん ]
- (2) 17世紀末から18世紀はじめにかけて、上方で発達した町人文化を何というか。 [ ]
- (3) 「日本永代蔵」など浮世草子うきよぞうしとよばれる小説で、町人の生活や欲望を生き生きとえがいた大阪の町人はだれか。 [ ]
- (4) 「曾根崎心中」などの人形浄瑠璃じょうるりの台本を書いた脚本家はだれか。 [ ]
- (5) 自己の内面を表現する新しい俳諧はいかい(俳句)の作風を大成した人物はだれか。 [ ]
- (6) 菱川師宣ひしかわもろのぶが始めた、町人の風俗を題材にした絵画を何というか。 [ ]

1 右の表を見て、次の問いに答えなさい。

(1) 下線部Aの江戸幕府による大名の統制について、次の文中の□□①・②にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

幕府は大名を、徳川氏一族である親藩、関ヶ原の戦い以前から徳川氏の家臣であった□□①大名、関ヶ原の戦い以後に徳川氏に従った□□②大名に分け、親藩・□□①大名は要地に、□□②大名は江戸から遠く離れた地域に配置した。

(2) 下線部Bの貿易を何というか。  
 (3) 右ページの史料Iは、下線部Cの法令の一部である。この法令名を答えなさい。  
 (4) □□Dは、史料I中の〰〰〰〰線部の制度のことである。□□Dにあてはまる語句を答えなさい。

将軍	おもなできごと・政策
家康	・ 関ヶ原の戦い ・ A <u>江戸幕府を開く</u> ・ B <u>貿易を奨励する</u>
2代	・ C <u>大名をとりしめる法令を出す</u>
3代	・ □□Dを制度化する ・ E <u>鎖国が完成する</u>
5代	・ □□Fを出す
6代	・ <u>新井白石が登用される</u>
7代	・ <u>長崎貿易を制限する…G</u>

(5) 下線部Eについて、次の問いに答えなさい。  
 ① Eの前に、九州地方でキリスト教徒を中心として、百姓らが大規模な一揆をおこした。これを何というか。  
 ② Eののちも来航を許され、長崎で貿易を行ったのはどこの国の船か。正しい組み合わせを次から選び、記号で答えなさい。  
 ア ポルトガル・スペイン      イ オランダ・中国  
 ウ 琉球・蝦夷地                エ イギリス・フランス  
 ③ Eの目的の1つは、キリスト教をとりしめることであったが、キリスト教の信者を見つけるため、右ページの資料Ⅱのようなものを使って長崎などで行われたことを何というか。  
 ④ ②の国のほかに、朝鮮と日本とは国交があり、朝鮮は幕府の将軍の代がわりごとに使節を派遣した。この使節を何というか。

(6) 表中の3代と5代にあてはまる将軍の名をそれぞれ答えなさい。  
 (7) 右ページの資料Ⅲは、家康から3代将軍にかけての期間に固められた幕府のしくみを表している。次の①・②にあてはまるものを、資料Ⅲ中のア～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。  
 ① 幕府の財政を担当し、天領の監督なども行った。  
 ② 将軍の下で幕府の政治全般の運営にあたった。  
 (8) □□Fにあてはまる、極端な動物愛護令を何というか。  
 (9) 次の文は、5代将軍から6・7代将軍にかけての期間の経済の動きについて述べている。文中の□□にあてはまる語句をあとのア～エから選び、記号で答えなさい。

1

(1)	□□ ①
(2)	□□ ②
(3)	□□ ③
(4)	□□ ④
(5)	□□ ① □□ ② □□ ③ □□ ④
(6)	□□ 3代 □□ 5代
(7)	□□ ① □□ ②
(8)	□□

5代将軍が貨幣の□□□□ことから物価高をまねいたが、6・7代将軍に登用された新井白石がこれをもとにもどし、物価の安定に努めた。

- ア 発行量を減らした      イ 質を落とした  
ウ 種類を増やした      エ 輸入量を増やした

(10) Gの政策が行われた理由を次から選び、記号で答えなさい。

- ア 貿易によって、九州の大名が経済力をつけ始めたから。  
イ 帰国する外国船にまぎれて不法に出国する日本人が増えたから。  
ウ 金・銀の国外流出をくい止める必要があったから。  
エ 許可を受けていない外国船が不法に入港するようになったから。

(9)	
(10)	

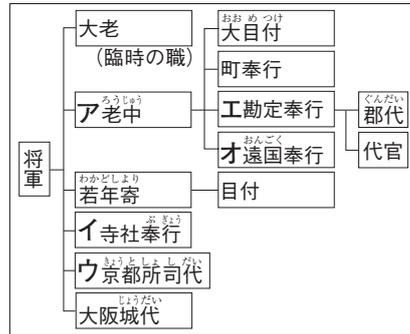
I

一、文武弓馬の道をもっぱらに心がけること。  
一、大名の江戸詰め交代を定める。毎年、4月中に参勤すること。参勤の従者の数が近年はなほ多い。それは領国にとってのむだな費用で、領民の労苦が多い。今後は各人の身分にふさわしく減少すること。 (3代将軍のときのもの)

II



III



2 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

江戸時代に入ると、人口が100万人をこえ最大の城下町となった□(a), 全国の**⑥**商業・金融の中心となり「天下の台所」とよばれた□(c), 文化の中心であり西陣織などのすぐれた工芸品を産出する手工業都市でもあった京都が、三都とよばれて栄えた。また、**④**農業の技術が**⑤**進歩し、開墾が進んだことから、生産量も増え、諸藩で収穫された米は年貢米として、□(c)などに置かれた□(e)に集められた。17世紀の末ごろからは、□(c)や京都を中心に町人の中から**⑦**新しい文化が生まれた。また、**⑧**さまざまな学問も発達した。

- (1) □(a)・□(c)にあてはまる都市名をそれぞれ答えなさい。  
(2) 江戸時代に整備された五街道のうち、□(a)と京都を結んでいた街道を2つ答えなさい。  
(3) 下線部⑥について、次の①・②をそれぞれ何というか。  
① 金・銀の交換など、今日の銀行のようなはたらきをした業者。  
② 幕府の許可を受けて営業を独占した、問屋や仲買の商人による同業者組合。  
(4) 下線部④について、右の絵のような農具を何というか。  
(5) □(e)にあてはまる建物を何というか。  
(6) 下線部⑦について、次の問いに答えなさい。  
① この文化を何というか。  
② 「日本永代蔵」などの浮世草子をあらわした町人はだれか。  
(7) 下線部⑧について、幕府が奨励し、武士の間で広く学ばれた学問は何か。



2

(1)	①
(2)	②
(3)	①
(4)	②
(5)	
(6)	①
(7)	②